

講義終了後、主任の先生の音頭で皆が意見や質問を出し始めました。すると、それぞれが内容をしっかりと把握し、的確な質問も出してきます。さすがに頭がいいなあと感じました。

一方、某私立大学で講義をしたとき。同じ時間枠でしたが：授業開始のチャイムはなっているのに私語は花盛り。僕が教壇に立っても誰も気付かず、担当の先生が大声で号令をかけてようやく授業が始まりました。講義をすると約半数が睡眠時間。しかし、残りの半数は目がキラキラして身を乗り出すほど。講義後は見学の希望の連絡があったりもしました。

大学ごとに個性は違いますが、若者たちが訪問診療や医療としての歯科に目を向けてくれるのはうれしいことです。20年後、彼らがどれくら

い活躍しているのか楽しみですよ！

揺れる歯

外来でも、訪問診療でも「歯が揺れるんです。歯槽膿漏ですか。歯の磨き方が悪いんでしょうか」とおっしゃる方が多くおられます。もちろん大筋は間違っていないんですが、少し僕たちのニュアンスとは違うかもしれません。確かに一般の知識としては「歯を磨かない↓歯槽膿漏↓歯が揺れる」ですね。しかし、歯槽膿漏は、歯磨きがしっかりできていればならないというものではありません。生活習慣、歯ぐきの質、歯並び、噛み合わせなど多くの原因からなっています。僕は何度かこの通信でも言っているように、噛み合わせのバランスが歯槽膿

漏の大きな原因になっていると考えています。ある歯に過剰な力が加わるとそれを支えている組織（歯ぐき）が崩壊します。その衝撃から身を守るように歯が揺れます。これって素晴らしい自己防衛能ですよ。

歯が揺れると「もうだめだ！」と思われがちですが、一つのサインです。そこから噛み合わせのバランスがとれれば再びしっかりする歯もあるんです。自分の能力を信じてあきらめずにがんばりましょう！

夏休み

外来は八月十四日（火）から十六日（木）までお休みいたします。

